



ななくい

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂

〒514-1295 三重県久居市大鳥町向広424-1

電話 059-252-1555 (代表)

ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>

FAX 059-252-1383

コ・メディカル 紹介

コ・メディカルとは医師を除く医療職のことです。今回は臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、歯科衛生士、鍼灸師の仕事について特集しました。

臨床検査技師の仕事

臨床検査技師 増井聖子

七栗サナトリウム臨床検査部の紹介をします。私たち検査部は3人で成り立っており、交替で病棟の早朝採血をし、3人の内1人がポケベルを持って待機をして時間外の緊急検査に対応しています。

採血についてですが、早朝の病棟採血はもちろんその日にオーダーがあった検査(入院・外来)については全て検査技師が採血しています。さて検査ですが、検体検査と生理検査があり、検体検査については採取した検体を遠心などの処理をし、それぞれの分析器にのせていきます。一般検査、生化学検査、末血検査、凝固検査、感染症検査に分かれています。至急の検体につきましては30分から40分で報告します。生理検査には心電図、エコー(エコーについては医師が検査をしています)、筋電図、膀胱内圧測定があります。七栗はリハビリ科を中心とした病院なので筋電図と膀胱内圧測定は欠かせません。特に、検査技師が膀胱内圧測定に関わるのはめずらしいのではないのでしょうか。

またNST(栄養サポートチーム)にも積極的に参加しています。入院時初期評価での栄養指標の計測、栄養指標となる検査データのモニタリングなどを行っています。

これだけいろいろな検査があると幅広い知識が必要となりますが、質の高い検査を提供するため

に日々努力しております。また私たち検査技師は患者さまとのコミュニケーションを大切にしていますので、検査についてわからないことなどありましたらお気軽に声をかけてください。



歯科衛生士の仕事

歯科衛生士 永田千里

歯科衛生士は病棟に訪床し、不衛生になりがちな入院患者さまの口腔内のケアを行っています。

口腔内の状態は人それぞれでかなり個人差があります。その患者さまの口腔内に応じた口腔ケアを行い適切な清掃用具を使用し、ご本人や介護者に清掃指導をして口腔管理を行っています。義歯を使用している患者さまには義歯の保管法や清掃指導、歯周病の患者さまには症状にあったブラッシング指導と適切な清掃用具の紹介などを行っています。当院の入院患者の多くはリハビリテーション科の患者さまです。リハビリテーション科の患者さまの多くは麻痺があり口腔清掃が不十分になりやすく、そのような患者さまには歯磨きの自立指導を行っています。また、摂食・嚥下障害患者さまにはご本人や介護者に誤嚥に注意するなどの歯磨きの指導を行っています。緩和ケア病棟では主に病室にて治療、口腔ケアを行っています。終末期において口腔内を清潔に保つことは患者さまのQOLの向上に寄与するものと考え



ています。病院に入院されると、洗面所に行けない、歯磨きが困難になるなど問題が起こってきますので日頃の定期的な歯科検診、専門的な口腔清掃などをお勧めします。近年、口腔ケアの重要性、大切さはよく言われています。今後、介護保険の予防給付の中にも「口腔機能向上」という項目が増える予定となっています。食欲の秋です。美味しい物を美味しく物を食べて頂くためにも、自分の口腔内の状態を良く知り適切な歯磨きを行い、健康な口腔内を保って頂きたいと思っております。

薬剤師の仕事

薬剤師 賀川まゆみ

皆さんは薬剤部にどのようなイメージをお持ちでしょうか？外来患者様や入院患者様の服用される薬を調剤して渡しているだけではなく、218床の入院患者様の注射薬の管理や院内で使用されている消毒薬の管理等も行っています。更に薬に関するさまざまな情報を集めて医師・看護師からの薬に関する質問に答える活動等も行っています。私たちが皆さんに提供している薬は医師や看護師を含めた院内薬事委員会で定期的に検討し、より適切なものを提供できるようにしています。また当院では全科型NST(栄養サポートチーム)の活動を行っていますが私たち薬剤部もチームの一員として活動しています。「医食同源」と言う言葉が示すように、栄養と薬は大変密接な関係があります。皆さんの栄養状態を把握し、改善する事でより高い治療効果が発揮されることを目標としています。褥瘡対策、院内感染対策にも薬は関与していますので薬剤師は院内回診に同行

して適切な治療薬、消毒薬等の情報を提供します。私たちは患者様が適正に薬を使用できるための情報提供を大変重要と考えています。外来のお薬渡窓口では簡単な薬効や服用方法、服用上の注意等の説明させていただきますがご希望があれば情報提供用紙をお渡ししています。診察室で医師に「薬の説明用紙が必要」と仰って下さい。万が一の災害時、患者様が自分が今飲んでる薬が何なのか分からないといけませんので情報提供用紙をお手もとにおいておかれることをお勧めします。入院患者様には医師の指示のもとベッドサイドにて個別に使用している薬剤についての説明を行っています。薬剤部の窓口はオープンカウンターになっています。いつでも何でも気になることがありましたら気軽にお声をかけてください。また、栄養・薬剤相談室を設けていますのでそちらでもゆっくりとお話を伺います。

診療放射線技師 レントゲン撮影について

診療放射線技師 藤井智司

皆さんはレントゲン撮影をしたときに不安に思うことがありますか？

どのくらい被曝したら危ないのか被曝したらどう危ないのか、不妊になるんじゃないか、ガンになるんじゃないか、今日の被曝はどれ位なのか。こんなふうに思っている方もたくさんいると思います。今回はこの場を借りてできるだけわかりやすくご説明したいと思います。

放射線の影響のうち発癌と遺伝的影響以外のすべての障害は、ある一定の線量以上の被曝がなければ起こりません。これは「しきい線量」といって、障害によって違いますが小さいもので奇形の発生が100mSv、放射線治療で起こる皮膚紅斑や脱毛は2500mSvです。通常レントゲン撮影ではせいぜい20mSvほどの被曝です。ですからレントゲン撮影をして不妊になるとか、脱毛することはありませんし、たとえ妊娠中に撮影を行っても奇形が起こることもありません。(もちろん妊

娠中は基本的に撮影しませんが)これだけでしたら「レントゲン撮影で被曝しても大丈夫です！」と断言できるので話は簡単なのですが、問題は発癌と遺伝的影響です。発癌と遺伝的影響は確率的影響と呼ばれ、文字通り被曝した量によって起こる確率が上がります。つまりちょっとだけ被曝すれば、ちょっとだけガンになる確率が上がりもうちょっと被曝すれば、もうちょっとガンになる確率が上がるということです。ただしこれも喫煙や生活環境などによる発癌と比べれば小さいものなので、それほど心配するものではないと思います。

放射線について心配なこと、わからないことは遠慮なく放射線技師にお尋ねください。

本文はあくまで当院で行う通常のX線撮影を対象にしており、放射線治療、IVRなど特殊な検査はこの限りではありません。

鍼灸治療(低周波治療など)のご紹介

鍼灸師 坂口敦彦

現在、鍼灸師1名で日々診療を行っています。場所は、本館1Fフロアの6番診察室です。診療日は月曜日～金曜日の午前中は外来患者様、午後は予約制で鍼灸治療と入院患者様です。土曜日にも予約制となっております。

外科、内科、リハビリテーション科よりオーダーが出た患者様を治療しています。

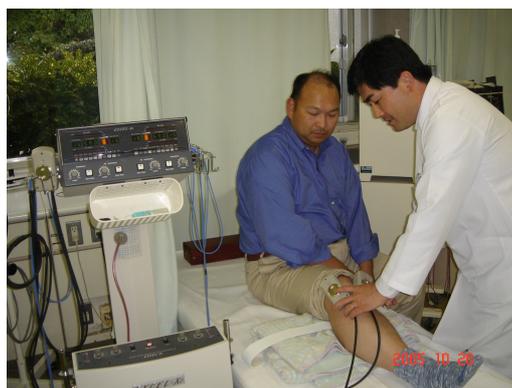
治療内容は、鍼灸治療(使い捨てのはり)、頸椎牽引、キセノン光治療、ツボを使った低周波治療などを行っています。

外来患者様には、まずssp治療(低周波治療)、キセノン光治療(光線治療)を受けていただく患者様が大半です。これらの治療は痛みをまず感じないため、心地良く治療を受けていただくことができます。また、これらの治療であまり効果がない場合、次の段階として本格的な鍼灸治療を行います。ただし、鍼灸治療が苦手な患者様もいらっしゃるため、希望の方のみ午後予約をして頂き治療を行っています。

治療時間はSSP治療、キセノン光治療は約15分間鍼灸治療は約15～50分間です。

どのような疾患を治療しているかと言いますと病院の立地する地域性もありますが、主に痛みの治療で受診される患者様が大半です。

変形性膝関節症、変形性腰痛症、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、坐骨神経痛、肩こり、便秘、胃腸障害などです。鍼灸治療などについて、わからないことがあれば鍼灸師にお気軽に声をかけてください。



外来医師担当表

平成17年10月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内科	休診	伊藤清医師	伊藤清医師	伊藤清医師	伊藤清医師	伊藤清医師
外科	東口教授	伊藤彰講師	東口教授	村井医師	水野医師	伊藤彰講師
リハビリテーション科	園田教授	鈴木講師	岡崎医師	坂井医師	岡本医師	※交代制

※ 注意 リハビリテーション科土曜日は山中医師・笛吹(うすい)医師が交代で診察します。

七栗サナトリウム地域講演会実施報告

8月5日 稲葉公民館の様子

平成17年8月5日(金) 13時30分～15時
 講師 外科学・緩和ケア講座 飯田俊雄 講師
 演題 救急疾患と応急措置
 場所 久居市立稲葉公民館
 久居市民大学稲葉学級講座と共催



平成17年9月20日(火) 11時～13時
 講師 看護部看護長 飯田正子 他2名
 演題 老人の健康について 健康相談・健康体操
 場所 七栗産業会館
 庄田町老人クラブ 敬老の日講演 共催

9月20日 健康相談の様子

平成17年10月24日(月) 13時30分～15時
 講師 臨床検査技師 井谷功典
 演題 健康食品と臨床検査
 場所 久居市立榊原公民館
 久居市民大学榊原学級講座と共催



編集後記

秋も深まり日1日と肌寒さを感じるようになりました。それでも今年の季節はゆっくり変わっているように思います。苦手な寒い季節は早く過ぎてほしいと思っています。さて七栗サナトリウムではみなさまにもっと当院のことをわかってもらえるようにホームページを開設しています。過去に発行した広報誌も載っていますので一度ごらんいただきたいと思っています。ホームページアドレスは

<http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>

です。